

東播磨ものづくり探訪会

報告者：前田 良昭 委員

1月28日(月)に、第2回東播磨ものづくり探訪会を開催し、キッコーマン食品高砂工場を見学しました。当日は、13時に山陽電鉄荒井駅に集合して、高砂工場に向かいました。

キッコーマンの工場の中で、最も広い敷地面積を誇る高砂工場では、沖縄を除く西日本各地に、製品を出荷していること等の説明を受け、昭和初期の古い建物も残る工場内の見学をしました。工場内には、ほとんど人影がなく、自動化が進んでいることが実感できました。



地産地消をひろげ、賑わいを作ろう

報告者：嶋本 健 委員



12月22日(土)に、「冬の午後はそば粉のケーキでほっこり」をテーマに、料理教室を開催しました。

今回は、加古川市西神吉町で収穫されたばかりの、新そば粉を使ったケーキ作りをして、そばの美味しい風味を紹介しました。

そば粉フルーツケーキ、サクサクそば粉ビスケットなどを作りましたが、そばの香りと舌触りが程よく、とても美味しいケーキ作りとなりました。

慌ただししい師走の中、楽しい一日になりました。

最近盛んになりつつあるそばの栽培ですが、志方・西神吉地区のそばは美味しいと評判で、生産組合の方たちも力が入っています。

東播磨の豊かな水辺を守り伝える

報告者：畠山 恵子 委員

東播磨の豊かな水辺を次代へつなぐために、水辺管理者と地域住民が現状と課題について話し合う『西牧ため池協議会との「語ろう会」』が12月9日(日)、加古川市志方町の西牧公民館で開かれました。

加古川市北部の山に囲まれた西牧地区は、安土桃山時代(天正年間)に落武者が拓いたと伝わる集落で、町内会が管理する池が10か所、5か村で共有管理の池が2か所、管理は隣村が行い水利権は西牧の池が1か所など、関わる池が13か所あります。

西牧ため池協議会長(森田弘和)の西牧地区におけるため池の歴史紹介と、参加者からは「西牧の池の水源地は、山からの降雨による流水と考えられる」との提案があって、活発な意見交換になりました。

その中で、近年のため池協議会の取り組みから「非

農家の人も農地・水への意識が向上した」「里山としての利用や整備ができなくなったことで竹林が増え過ぎ、竹パウダーの肥料化を進めている」などの成果が報告されましたが、一方で「住民の高齢化に伴い、ため池の維持管理が困難である」「山の近くの池では流入土砂の堆積が大きい」など、ため池が抱える課題も多く出されました。

今後は、河川、ため池、海辺の管理者との「語ろう会」での意見を踏まえ、課題と展望を考える「水辺検討会議」の開催を予定しています。

